

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## ② 施設・事業所情報

名称：めいとく保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：草野 陽子	定員（利用人数）：54名(52名)	
所在地：〒232-0008横浜市南区庚台48		
TEL：045-231-8498	ホームページ： <a href="https://www.meitokka.or.jp/facilities/meitoku">https://www.meitokka.or.jp/facilities/meitoku</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 1974年5月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人明德福祉会		
職員数	常勤職員：12名	非常勤職員：10名
	(保育士) 18名	
	(看護師) 1名	
	(栄養士) 1名	
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等)
	乳児室（0～2歳児室）2室 幼児室（3～5歳児室）2室 沐浴室 1室 調理室 1室 トイレ 3室 職員休憩室 1室 地域子育て支援室 1室 一時保育室 1室	*建物・園庭を含む 鉄筋コンクリート造り4階建て 建物延床面積 388㎡ 園庭 123㎡

## ③ 理念・基本方針

## 【保育理念】

子どもの人権や主体性を尊重し、保護者や地域社会と力を合わせて、子どもの最善の幸せのために努力する。

## 【基本方針】

子どもの健康と安全を基本にし、豊かな人間性と生き生きとした子どもを育成する。

## ④ 施設・事業所の特徴的な取組

## 【立地および施設の概要】

めいとく保育園は「社会福祉法人明德福祉会」が運営する保育所で、現在0～5歳児52名（定員54名）が在籍しています。京浜急行線南太田駅から徒歩8分の所に立地しています。園舎は鉄筋造りの4階建てで、園庭はありませんが、テラスや屋上を有効活用しています。周囲には隣接する庚台公園や、広大な清水ヶ丘公園等の多くの公園があります。子どもたちとほぼ毎日散歩に出かけ、しっかりと体を動かして、

健康で丈夫な心と体づくりに取り組んでいます。

【園の特徴】

子どもが自分のやりたいことを自分で決められるように、保育室にままごと・絵本・机上遊び等の様々なコーナーを設定し、年齢に合った玩具を用意して、一人ひとりが興味関心に合わせた遊びを楽しんでいます。

幼児クラスでは3～5歳児の異年齢保育を行っています。異年齢での人間関係が自然に育まれ、思いやりや優しさ、大きい子どもへのあこがれの気持ちが芽生えています。

職員は子どもが安心して、自分の気持ちを表現できるような関係づくりに努めています。職員はていねいに、分かりやすい言葉で子ども一人ひとりに寄り添い、子どもの自分でやろうとする気持ちを尊重し、見守っています。

「本育（本を使った教育）」を全クラスで行っています。週案に「本育」の項を設けて、生活の中に計画的に絵本を取り入れています。季節・自然・行事・生活習慣や健康について、子どもたちの興味関心を引き出し、生活を豊かにする機会にしています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月11日（契約日） ～ 2023年1月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2017年度）

総評

◇特長や今後期待される点

1. 保護者が安心して子育てができるような関係づくり

職員は保護者が安心して子育てができるように支援をしています。職員は子どもが「園でできるようになったこと」「園で頑張っていること」などの前向きな話をし、保護者が自信を持てるように心がけています。年2回のクラス懇談会は保護者が悩みを共有し、励まし合う機会になっています。

現在、送迎は外階段を利用して、各階のテラス（乳児は2階、幼児は3階）で行っています。乳児クラスでは朝、夕のどちらかは必ず担当職員が対応できるようにシフトを組んでいます。家庭での様子を聞き取り、困りごとを一緒に考えるなど保護者とのやり取りを大切にしています。

幼児クラスは毎日玄関に設置したスケッチブックで、その日の活動・子どもの姿・活動のねらいについて写真と共に保護者に伝えています。活動の意図や職員の思いも伝えて、保護者の理解が得られるようにしています。

コロナ禍で保護者の行事参加が制限されたため、子どもたちの行事の様子や保育の様子を撮影して「1年間の成長記録（DVD）」として各家庭に配付しました。子どもの成長を保護者と園で共有できるようにしています。

2. 地域との連携

設立後48年の保育園で、長年地域との関係づくりに取り組んできました。園の第三者委員が地域の民生委員児童委員や放課後児童クラブ運営委員であり、地域の情報を得ています。園長は定期的に南区の園長会、横浜市社会福祉協議会主催の会議に参加しています。

コロナ禍でも地域の親子向けに育児講座（年2回）、絵本の貸し出しを続けています。散歩の際、職員と子どもたちが地域の方々や次々にあいさつを交わす姿が見られました。地域の自治会の防災訓練にも参加しています。

卒園児の家族の畑で芋掘りをしたり、七夕の笹の提供も受けています。子どもたちと卒業制作として「地域のお散歩マップ」を作成し、地域への関心や愛着が持てるようにしています。

### 3. 中・長期計画の実現に向けたさらなる工夫を

運営法人と連携して、園の中期計画（3年）・長期計画（5年）を作成しています。重点事項として「利用者支援の充実」「経営と事業運営の透明性の向上」「人材育成と環境づくり」「地域とのつながりと公益的な取り組み」等の具体的な項目があり、経営課題や問題点の解決・改善に向けた取組を行っています。

中長期計画に従って改善をした結果を確認し次期計画に反映するために、計画期間、実施時期、実施担当、評価反省欄を設けるように検討することが期待されます。

## ⑥ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

平成19年、平成29年そして今回3度目の受審となりました。日々の保育や施設運営を振り返る機会、資質向上に繋がる機会となればと思い受審いたしました。

前回と違う評価項目や内容に戸惑いながらも職員一人ひとりが自己評価を行ったうえで、少人数グループで話し合い、その結果を主任保育士と園長で取りまとめを行いました。職員一人ひとりが改めて「保育」について考える機会となり、グループで話し合いを重ねることで新たな気づきや振り返りとなりました。個人の考えと保育園の考えをすり合わせ保育の方向性を再確認・再構築する良いきっかけとなり、保育の質の向上と、より良いチーム力の向上にもつながったと思います。

当園の保育理念や方針、保育目標を基盤にし、子どもへの関わりについて再確認することで、全職員が子ども達に、保育士としての専門性と温かな心で向き合い、また保護者の皆様と連携し子ども達の育ちを支えていけるよう、今後も取り組んでまいります。

今回の評価結果を真摯に受け止め、今後も職員一丸となり保育に努めてまいります。最後にアンケートにご協力いただいた保護者の皆様、ナルク神奈川福祉サービスの皆様に心より感謝申し上げます。

## ⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり